

ハーモニー

令和4年7月14日

白鷹町大字鮎貝3994番地7 TEL 85-2342 / FAX 85-2341

おもしろくてこわい話 語り部の会を開催

まなび部会（大村亨夫部会長）では、「語り部の会」を6月26日に鮎貝語り部クラブの方々と怪談作家の黒木あるじ氏をお招きして開催しました。

語り部クラブの方々からは、一丈塔婆（紙芝居）、ごぜの化け物退治、蔵高院延命地藏の話を披露していただき、方言や優しく語りかける話し方で聴いている人を引き付けていました。

黒木さんからは、白鷹周辺で聴き集めた怪談話をお聞きしました。その後、参加された皆さんが、聞いたり体験された不思議な怖いお話を披露していただき交流を深めました。



鮎貝歴史講座を 開催いたします

まなび部会では、鮎貝歴史講座を「郷土が生んだ江戸の俳人、和田東潮の生涯と作品」と題して開催いたします。

芭蕉の孫弟子の東潮の生い立ちとは、どんな俳句を詠んだのか、是非この機会に一緒に学んでみませんか。

◆日時 7月23日（土）

午後7時から

◆場所 ハーモニープラザ

ホール

◆講師 鮎貝歴史を語る会

佐藤健一氏

◆申込み 7月21日（木）まで

ハーモニープラザに
お申し込みします。

☎（85）2342



今年度2回目 体振主催の グラウンドゴルフ大会を開催しました

5月に行われた70歳以上のシニアの大会に続き、69歳以下の方を対象にした大会が6月12日に開催され、8分館から28名が参加されました。

大会直前に降った雨で小学校のグラウンドが使用できなくなったため、急きよハーモニープラザの芝生に8コースを設定するなど、体振事務局の苦勞のかいもあって、参加者らは芝生の感触を楽しみながら心地よい汗を流していたようです。入賞者はこちらの通りです。おめでとうございます。



【男子の部】

- 第1位 齋藤 博 (柏原)
- 第2位 齋藤 寛 (赤坂)
- 第3位 船山嘉実 (新町)
- 第4位 小林正明 (神明町)
- 第5位 福田芳郎 (神明町)

【女子の部】

- 遠藤千鶴 (桐町)
- 鈴木佳子 (桐町)

ボッチャ体験会 8月まで開催中 ぜひ体験してみてください



6月26日を皮切りに、当面8月までの第2・第4火曜日の午前10時からハーモニープラザで行っていますので、ボッチャ体験会にぜひお越しください。

この体験会は、ニュースポーツの普及にも取り組んでいる体育振興会が行っているもので、第1回目の体験会(写真)に参加された方からは、チームワークも必要だし大変奥が深く楽しい、と好評でした。

まちおこし部会で

動画編集講習会を開催しました

ユーチューブの『鮎貝コミセンチャンネル』に動画をアップしているまちおこし部会の鈴木広貴部会長が講師となり、動画の編集ソフトを使って今年度一回目の講習会が6月28日に行われました。

講習会には8名の部会員が参加。無料の編集ソフトのインストールからスタートし、録画していた映像から不要な画像を削除して数分間にまとめ、それにタイトルや音楽、字幕などを挿入していきしました。

分かりやすくていねいな説明と指導のお陰で、一通りの編集ができたようで、自分で撮った動画を自分なりに編集してみたい、と意欲的でした。

今後、秋と冬の2回程開催する予定です。参加してみたい方はハーモニープラザにご連絡ください。



鮎貝コミセンチャンネル
ご覧ください

段ボールコンポストでも生ごみ処理 上手に使うための講習会を開催

段ボール箱をコンポスター代わりに使って、生ごみを有機質肥料にする取り組みもくらし部会の事業として行っています。

今年も、毎年参加されている方や初めての方など21名が10月末頃まで取り組んでいただきます。

始めるにあたっての講習会が7月5日に行われ、赤坂の御代田 修さんが5月から実践しているものを見せてもらいながら、生ごみを上手に発酵させるためのポイントなどを確認し合いました。



多肉植物の寄せ植えを 楽しみました

多肉植物の寄せ植え教室を7月2日に花ショップポピーの齋藤美佐子さんを講師に開催し、15名の方が参加されました。

見本を作りながらの説明を聞いた後、それぞれ好きな苗を選び、真（しん）にする苗から高さや配置、配色のアドバイスをしてもらい植え込みました。

また、葉や茎を切って根を生やす増やし方や子株を親株から分ける増やし方など別の楽しみ方も教えていただきました。



くらし部会と菜の花学級で EMボカシづくりを行いました

今年も、生ごみの減量化と有機質肥料へのリサイクル運動を広める活動の一つとして、くらし部会と菜の花（婦人）学級の共催によるEMボカシづくりが6月29日、箕和田の選果場で行われました。

町美しい郷づくり推進会議の加藤仁美さんの指導の下、（株）サンファームしらたかさんから提供いただいた米ぬか約300kgにEM菌と糖蜜などを入れ、参加者24名と手伝いにきていただいた方々が交代しながら混ぜ合わせました。



七夕まつりが開催されました

四季の郷駅で楽しむ会（新野吉彦会長）の七夕まつりが7月2日から7日まで開催され、賛同いただいた企業や団体から寄せられた13本の七夕飾りが四季の郷駅に飾られました。

今年も残念ながらイベントの開催はできませんでしたが、青空の下、色とりどりの吹き流しや短冊が風になびき、訪れた人々の目を楽しませていました。また、今年はライトアップも行われ、昼とは違った雰囲気味わうこともできたようです。



ウェルビーイング (well-being) とは、世界保健機関 (WHO) 憲章での提唱を元に「肉体的、精神的、社会的すべての要素で満たされた、持続的な幸福の状態」を指し、最近よく耳にする言葉です。経済的な指標であるGDPに代わる、社会的な幸福を測るための新たな指標としても注目され、ウェルビーイングの実現を目指す企業も増えてきています。

研究者によれば、ウェルビーイングは、科学的な手法で五〇項目ほどの要素から探っていくものようです。しかし、シンプルに、例えば、朝は気持ちよく目が覚め、夜は穏やかな気持ちで布団に入れる、というような、自分なりの幸せ、幸福感と捉えていければ理解しやすいのかなと私は思います。

教育の世界でも、二〇四〇年以降の社会を念頭に、一人一人の多様性を踏まえ、誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学ぶことができ、誰一人取り残されず、一人一人の可能性が最大限に引き出される教育の在り方への議論が始まっています。まさしく、ウェルビーイングの実現に向けた教育制度の再検討です。

学校では、子供たちの抱える、不安やいらいら等の負の感情を、期待やわくわく等の正の感情に変え、その子の自己肯定感を高めていく支援をしていくことが重要と捉えます。今後も地域や保護者の皆様と手を携えながら、個に応じた支援を進めていきたいと考えています。

ウェルビーイングの実現に向けては、まず、我々おとなが幸せでいることが大事であると言われています。子供は、家庭、学校、地域において、おとなの愛情と理解の中で成長していきます。そういった子供にとって安心できる環境づくりの第一歩が、我々おとなが幸せでいることなのです。



神明町の方々が初期消火の重要性を確認

鮎貝区自主防災会（井上善晴会長）が町内持ち回りで毎年実施している防災訓練が、今年は神明町町内で7月3日に行われました。

暑い中にも関わらず約50名の方々が参加し、消火栓の説明を熱心に聞いたり、水消火器を使った消火訓練を体験し、初期消火の重要性を確認しました。



駐在所からのお知らせ

令和4年度“明るいやまがた”夏の安全県民運動実施中

【実施期間】

7月22日（金）～8月21日（日）

【運動の重点】

- 青少年の健全育成と、いじめ・非行防止及び犯罪被害防止
- 子どもと高齢者の交通事故防止、飲酒運転の撲滅
- 身近な犯罪等の防止

白鷹西駐在所
後藤 巡査部長

☎ 85-2029

